

松本翔は取り組みます!



令和5年度渋谷区予算概要

渋谷区の財政においては、世界的な金融資本市場の変動や物価上昇、歳入の大宗をなす区民税へのふるさと納税の影響が拡大の一途をたどっているなど、その先行きは依然として不透明であり、中長期的視点を持って行財政運営を行っていくべきです。

令和5年度予算においては、子育て・教育・福祉施策の充実、街の安全・安心の向上、地域コミュニティの活性化など各種政策を着実に実行するとともに、区制施行100周年を見据えた「人づくり」「まちづくり」など未来への投資にも積極的に注力します。その結果、一般会計予算総額は1126億2800万円となり、対前年度比6.0%増、過去最大の予算規模となりました。本特集号では、次の8項目について解説します。



福祉 児童への特別な支援の拡充

障害者福祉センター代々木の杜において、10月より給食提供や送迎を開始し、職員体制を強化して児童発達支援センターへ移行します。

また保育所等訪問支援により、支援が必要な子どもと保護者に直接助言指導を行うことで、就学前後の切れ目ない支援をより充実させ、円滑な小学生生活のスタートを目指します。



福祉 重層的支援体制整備事業

「つながる みまもる ともにいきる 渋谷」をスローガンに、複雑化・複合化した生活課題を抱える人・世帯に対し、生きづらさを軽くできるよう支援体制を推進します。

「福祉なんでも相談窓口」を区役所2階と文化総合センター大和田に新設するとともに、地域福祉コーディネーターを増員し、またNPOや地域団体等が活動できる場を大和田に開設して地域づくり事業を推進します。

教育 渋谷ユナイテッドとの連携

2021年10月設立の「一般社団法人渋谷ユナイテッド」と連携し、「部活動改革」を行うとともに、既存団体や学校の枠組みを超えた「総合型地域クラブ」への発展を目指します。2校のモデル校（代々木中、原宿外苑中）を設置して「スーパーバイザー」を配置するほか、民間クラブ等との連携を強化。また自主事業として水泳、陸上、硬式テニスの練習会を実施します。



子育て 不妊症、不育症ピアサポート事業

昨年より開始した不妊治療への経済的支援との両輪で、精神的支援としてピアサポート事業を実施します。不妊症や不育症でお悩みの人、流産や死産を経験された人、不妊治療の継続に悩んでいる人などを対象に通話相談や面接相談を実施するほか、対象・テーマを設定したグループでのおしゃべり会を実施します。



治安防犯 渋谷区安全・安心パトロール警備事業

徒歩と青色防犯灯付きEV車（通称「ハチパト」）でのパトロールを開始し、児童の登下校時の安全確保、およびゴミの放置・騒音等の迷惑行為や客引き・落書き行為の防止を図ります。徒歩パトロールは原則金曜・土曜の夜間に繁華街を対象に実施。ハチパトは常時3台、24時間365日体制で区内全域を対象に行い、災害時には移動式の電源としても活用します。



施設整備 ふれあい植物センターリニューアル

渋谷駅から徒歩からほど近く、「日本で一番小さい植物園」として知られるふれあい植物センターが、栽培から収穫、販売までの機能を備えた施設として本年夏にリニューアルオープン。水耕栽培等の屋内栽培機能を有して収穫体験を提供するほか、「地産地消」をコンセプトとしたカフェや各種イベントを展開します。



まちづくり 駒テラス西参道オープン

明治神宮へ通じる西参道と、隣接する首都高高架下の整備が「西参道プロジェクト」として進行中です。将棋文化の普及啓発と地域のにぎわい創出を目的とした施設「駒テラス西参道」が本年夏にオープンし、施設を活用した各種イベントを予定しています。



産業振興 デジタル地域通貨事業

昨年11月より開始した渋谷区独自のデジタル地域通貨「ハチペイ」について、本年も様々なキャンペーンを実施するほか、アプリ機能の追加や、他事業との連携、商店会等イベントとの連携など活用を推進します。利用者向けには登録時のポイント付与や決済時の8%還元キャンペーンを継続するほか、11月に開始1周年キャンペーンも企画中です。



渋谷区議会議員 松本翔 は、バランスのとれた施策を実現します